

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有 ▼	電話	042 (749) 2211
担当部課名	土木部 ▼	南土木事務	所 ▼	道路補修 班 ▼
事務事業名	市道南大野歩道整備事業		事業コード	32630

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備(第2章)	事業開始年度
基本施策名	第6節	安全でゆとりある道路の整備(第2節)	12 ▼ 年度
施策名	第3施策	人にやさしいみちづくり(第1,2,4施策)	

2 実施根拠及び関連法令等

道路法(道路の構造)第30条

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
障害者や高齢者をはじめ市民の誰もが使いやすい道路とするため、バリアフリーに配慮した歩道の整備を行う。	歩行通行者
	対象数 2,760人/日
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
歩道拡幅整備延長 L = 289m (両側) 歩道拡幅幅員 W = 2.5m 総事業費 C = 66,665千円 工事請負費 66,165千円 需用費 486千円 旅費 14千円	(5) 個別計画の概要 計 画 名 交通安全施設等整備事業 計 画 年 次 12 年度 ~ 17 年度 国土交通省補助事業(交通安全施設等整備事業)により、総延長1,690m区間をげんぎょう1.5mの歩道から2.5mに拡幅整備を行い、あわせて歩道の段差解消等のバリアフリー化を図る。

4 評価指標

指標名	最低歩道幅員整備率		
指標式	整備延長/事業区間延長 × 100		
指標設定の意図	道路構造令による最低歩道幅員の延長により成果を表す		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指 標		253	a 289	b 250	250
指 標			c	d	
指 標			e	f	
事業費	決算(予算)額	64,583	66,665	70,000	104,000
	人員・時間数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人
	人件費	885	842	842	842
	その他経費				
合 計	0	65,468	67,507	70,842	104,842
特 定 財 源		26,400	26,400	26,400	26,400

6 個別評価

(1)達成度・・・目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	理由 :	= 、 、 の平均値 = 115.6%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
a	289.0	c	
b	250.0	d	
× 100= 115.6%		× 100=	
		e	
		f	
		× 100=	
理由 :			
(2)必要性・・・時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	交通パラフリー法の施行により駅を中心とした歩行区間のパラフリー化が求められる。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		
(3)経済性・効率性・・・費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	用地買収を伴わない現道内の整備であり、今まで車道の停車帯として位置付けられていた余裕幅を利用しての整備である為、効率性は大なるものがある。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		
(4)事業の代替性・・・県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	道路法により市道の管理は市町村が行わなければならない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		
(5)市民満足度・・・対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	歩道幅員としては最低に近い幅である為、電柱や道路標識等の地上占用物の箇所が狭くなってしまう。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		
(6)有効性・・・当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	安全でゆとりある道路の整備という観点からは当事業は有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 整備延長を増やす事は工事による市民生活に及ぼす影響が大となる為、向上に余地はない。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> コストの大部分が工事請負費の為、圧縮することは困難。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	全体計画区間の一部交差点部分において車道の右折レーンが必要となり、現道道路幅での整備の為、最低歩道幅員の確保が出来ない箇所が出来る。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--